



つるがや たより

第21号

発行日平成24年 1月17日

群馬県伊勢崎市境百々421

医療法人鶴谷会鶴谷病院

広報委員会

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年も無事、新しい年を迎える事ができました。改めまして平成24年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は3月に起こった未曾有の大震災に始まり、紀伊半島を中心に日本各地で猛威を振るった台風、タイの大洪水やトルコ地震など、自然の恐ろしさを思い知らされた一年でありました。自然災害の中、私たち人間がいかに無力であったかとも思い知らされました。東日本大震災では当院からも医療チームの派遣を行い、微力ながらも被災者の医療支援活動や健康維持への貢献に努めました。人間個人の力は小さくとも協力し合い助け合うことによって大きな力になることを身をもって体験しました。

さて、鶴谷病院は昭和29年に開院以来、今年で58年を迎える運びとなりました。今年には職員一人一人が個々の力を高め、そして職員一丸となってチームワークを大切にし、地域の皆様の健康維持と地域医療へのご要望にきめ細かくお応えして参りたいと考えております。

昨年より着手した耐震化工事も順調に進み、4月には新築の東棟2階建てが完成し運用が始まります。2階部分には第六病棟が南棟より移転し、1階部分には仮設で、外来診療科の一部（外科・整形外科）や内視鏡室等が移動します。また、今まで南棟に分かれていた内科6番・7番・脳神経外科は本館内科の並びに揃い一体化します。6月からは南棟を解体し、新棟（本館南棟）の建築が始まります。完成は来年の8月の予定となっております。

工事中は、騒音や振動、また、部屋の移動等により内部が分かりにくい状況が発生し、ご来院の皆様には、大変ご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。ご迷惑が最小となるよう努力いたしますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

昨年は何かと暗い話題が多かった一年でありましたが、辰にあやかり皆様にとって昇進の良き年になりますよう願うとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

院長 鶴谷 嘉武
理事長 鶴谷 英樹

睡眠時無呼吸症候群（SAS）をご存知ですか？

人生の3分の1は睡眠に費やしていますが、睡眠時無呼吸症候群（SAS：Sleep Apnea Syndrome）に罹患していると、良質な睡眠がとれず、日中の活動性や労働の質、運動能力などが低下することはもちろん、高血圧や虚血性心疾患、糖尿病などの生活習慣病を高率に合併し、生命予後に与えることが明らかになりました。

2003年山陽新幹線の事故以降、病識は広まりましたが、まだまだ治療を受けていない患者さんが多いのが現状です。

1. SASは以下に分類されます。

- 閉塞型睡眠時無呼吸症候群（OSAS）

呼吸中枢は正常に働いているが、睡眠に伴い上気道が閉塞し、舌根沈下が起こって、呼吸再開時に大きいびきを伴うのが特徴

- 中枢型睡眠時無呼吸症候群（CSAS）

中枢神経系の疾患により呼吸制御系が障害された場合や、REM期を中心とした睡眠中に呼吸筋への刺激が消失して無呼吸となります。脳疾患患者や心不全患者に高率に見られる異常呼吸は、中枢型に分類されます。

2. OSASについて

- OSASの症状と徴候

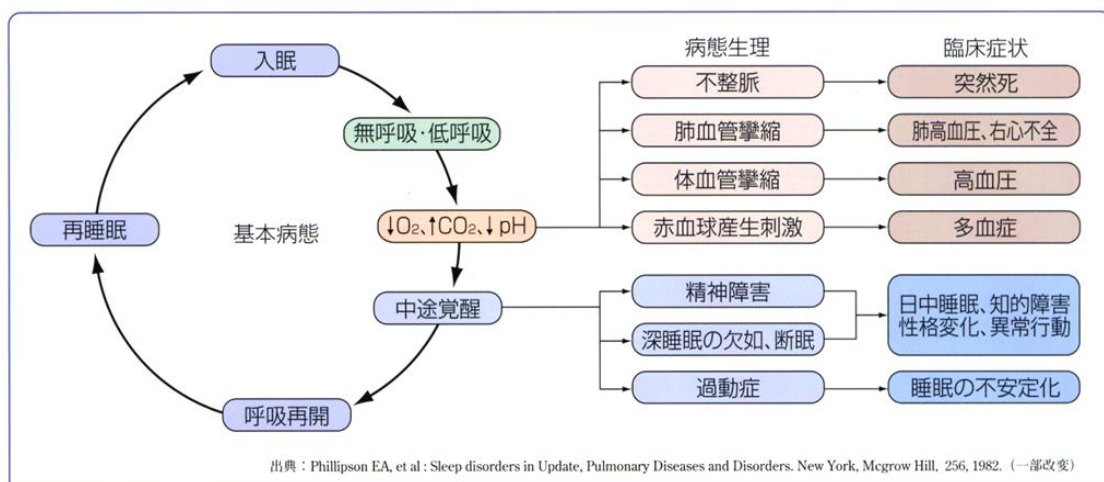
症状：いびき

- 日中の傾眠
- 知性の低下
- 性格の変化
- 起床時の頭痛
- 幻覚、自閉症
- 呼吸困難（特に疲労時）
- 不眠症
- インポテンツ

徴候：断眠（脳波上）

- 肥満
- 不整脈
- 肺高血圧症（肺性心）
- 多血症
- 高血圧
- 浮腫

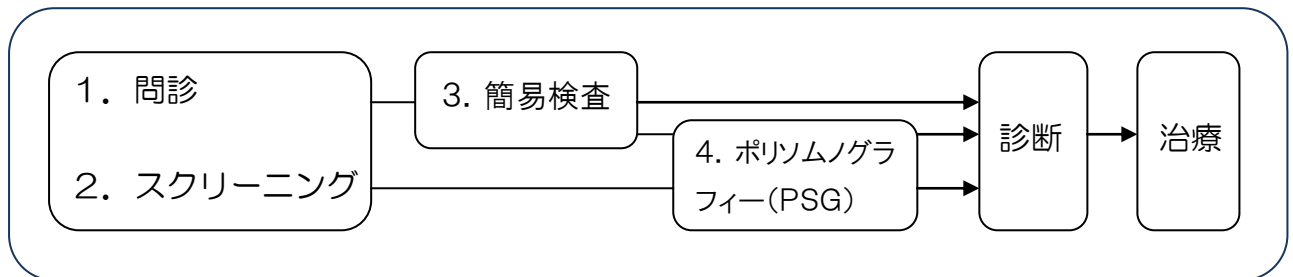
- OSASの病態生理



3. OSASの診断

・診断の流れ

OSASの確定診断には睡眠に関連する複数の項目を同時に測定する、終夜のポリソムノグラフィー（PSG：Polysomnography）が必要ですが、終夜検査を支える体制や設備などの制約により、全例にPSG検査を施行することは困難です。その際はOSASを疑われる患者には、まず、スクリーニングもしくは簡易検査を行ない、さらに睡眠状態や呼吸状態をより詳しく把握する必要がある場合には、PSG検査を施行します。



4. OSASの検査

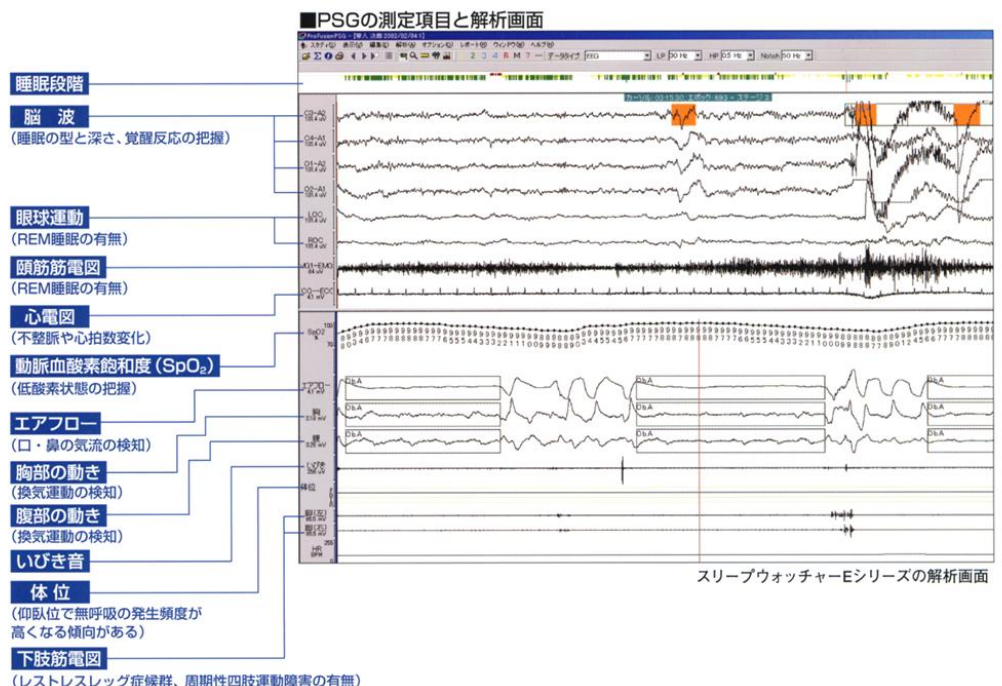
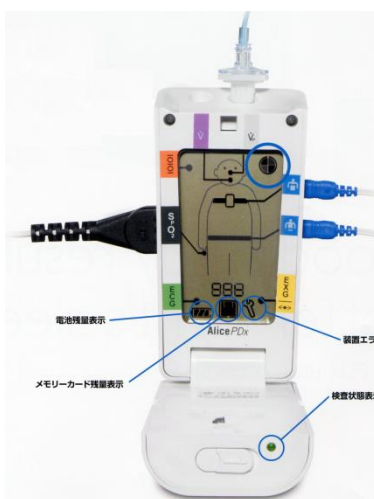
・スクリーニング検査

メモリー機能付のパルスオキシメータで、夜間睡眠時の酸素飽和度（SpO₂）を記録するものです。



・ポリソムノグラフィー（PSG）検査

睡眠状態を色々なパラメータからトータルに評価する検査です。



5. 当院での対応

当院では、OSASの検査で、スクリーニング検査とポリソムノグラフィー（PSG）検査を行なっております。また、OSASの治療にも対応しております。

いびき等の症状があり、ご不安がある方は主治医または内科医師へ、ご相談いただければと思います。

参考書籍：睡眠時無呼吸症候群へのCPAP療法（帝人ファーマ）

院外処方せん用FAXを設置しました

当院では院内薬局があるため、院外処方せんはあまりご利用がございませんでしたが、かかりつけの薬局（院外の保険薬局）がある等、患者様のご要望がある場合には、院外処方せんを発行いたしますので、受付でお申し出下さい。

また、かかりつけの薬局へ院外処方せんを送るためのFAXを総合案内に設置しました。院外処方せんをご利用しやすいように、無料をご利用出来るようにしております。操作方法や院外薬局のFAX番号等が判らない時は、総合受付へお申し付けて下さい。

医療法人鶴谷会の理念

- ①人間愛を持って患者さんに接し、心のこもった医療・介護サービスにつくすこと。
 - ②日進月歩する医療・福祉に対して前向きに取り組み、“チームワーク”を大切にすること。
- これらをふまえ、質の高い医療・介護サービスを地域の方々に提供する。